


施設名	茶屋町橋梁								
所在地	福岡県 北九州市								
管理者等	不明								
施設種類・分野	橋								
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>茶屋町橋梁は、北九州市八幡東区の槻田川に架かる煉瓦造りのアーチ橋である。現在は、北九州市の交通史を語る史跡として、美しい弧を描いた姿が残されており、橋梁の側面に市松模様の凹凸がある等、その構造が特徴的であることが、保存の一要因となっている。元々は明治24年に開通した九州鉄道大蔵線の鉄道橋。大蔵線は、陸軍防衛上の要請により内陸側に建設されたが、明治35年に海側に鹿児島本線が開通したことから、明治44年に廃線となった。廃線後もしばらくは歩道橋として使われていた。</p>								
	 <p style="text-align: right;">文献1より引用</p>								
築造時期	明治中期			時期詳細	明治24年				
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	—								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	—	文化財 (文化庁)	—	近代化産業遺産 (経産省)	○	世界遺産 (ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)	文献1:福岡県の土木遺産リスト( <a href="http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/srh_list_fukuoka/">http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/srh_list_fukuoka/</a> )(社)九州地域づくり協会作成)								
管理者等のHP (URL等)	—								